

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	鈴木（高橋）吏良	所属	浦和大学社会学部 総合福祉学科 心理支援コース
研究会等名称	日本心理学会メディア心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 3名（うち認定心理士 3名） 非会員 20名（うち認定心理士 2名） ほか、オンライン参加約 50名 合計約 70名</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>新型コロナウイルスへの対応は緩和されて来ているが、“メディア”の活用は急速に進んでいる。テレワーク勤務やオンライン授業はパフォーマンスの場所を選ばず利点は大きい。一方で、視覚情報および聴覚情報を共有しているにも関わらず、心理的距離を感じることもあり、様々な場面において影響がある。</p> <p>本研究会では、メディアによるコミュニケーションが心理に与える影響を探り、メディアをより有効活用するための知見を得ることを目的①、多くの人が受容しやすい（伝わりやすい）情報の取捨選択やプレゼンテーション方法なども把握し、送信側と受信側の心理に影響を与えるメカニズムを解き明かすことを目的②、メディアによって傷つけられる人を減らすためにどのような予防策やソーシャルサポート・システムが必要であるか、心理学的な観点から研究することを目的③としている。</p> <p>これまでのシンポジウムで提言が出されたメディア心理学研究会の今後の目標や方針は、主に、以下の5つのテーマであった。</p> <p>①メディアが人の心理に与える影響の検証 ②大災害や今回のコロナなど、有事における報道に関する検証と情報提供 ③報道人（報道を伝える側）の心のケア ④政府の方針を伝える（媒体としての）メディア ⑤メディア心理学の発展に向けて</p> <p>本年度は、目的③テーマ①に関してオンライン上で100名を対象に、SNSでの誹謗中傷に関してアンケート調査を行った。目的は、誹謗中傷を減らすための対象や焦点を探ることである。結果、ネット接触時間が長い、誹謗中傷された経験がある、多数のメディアを使用している人の方が、誹謗中傷やリツイートをしていることがわかった。性別や年齢は関連がなかった。</p> <p>次に、上述の研究結果と目的①テーマ④に関して研究集会を開催した。研究集会では、心理関係者、メディア関係者、精神科医、心理学を学ぶ大学生がディスカッションを行った。メディアによって傷つけられる人を減らすための方法や、コロナ禍において政府がどのように発信すれば、過敏になりすぎずに、正しく予防、対応できるか、メディアはどのような形でどのタイミングで発信すれば効果的かということを話し合い、フェーズごとの対策について仮説をまとめた。今後は、仮説の検証やテーマ①から⑤について新たな調査研究を行い、メディアで積極的に発信していく所存である。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
日本心理学会メディア心理学研究会				
研究集会開催日： 2023年 3月 9日(木)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	鈴木吏良	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース 特任准教授、認定心理士、臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、産業カウンセラー	○	○
2	角田智哉	けやき心の発達診療所、精神科医、臨床心理士		
3	加藤邦子	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース 特任教授、認定心理士、臨床心理士	○	○
4	栗延孟	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース 特任講師、社会福祉士、博士(心理学)	○	○
5	中村拓人	NHK日本放送協会		
6	小嶋修一	TBS報道局解説委員兼シニアエキスパート		
7	野村総一郎	六番町メンタルクリニック院長 防衛医科大学校名誉教授、精神科医		
8	高橋祥友	精神科医、自殺予防研究		
9	高原史郎	関西メディカル病院副院長、医師、元日本移植学会理事長		
10	浅井文和	朝日新聞OB・日本医学ジャーナリスト協会会長		
11	藪内潤也	NHK科学文化部医療担当デスク		
12	金子賢佑	金子書房 代表取締役常務		
13	田中威至	テレビ大阪株式会社		
14	片山俊之	テレビ大阪株式会社		
15	前川始	テレビ大阪株式会社		
16	田川あかね	神戸新聞社		
17	飯田将茂	映像カメラマン		
18	安藤絵美子	国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報部、精神保健福祉士		
19	村木一郎	警察庁(シニア産業カウンセラー)		
20	岩下香織	認定心理士、キャリアカウンセラー(元日本心理学会会員)		○
21	中村経子	認定心理士、臨床心理士		○
22	寺田未有	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース		
23	加藤涼葉	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース		

(様式5)

2023年4月30日

日本心理学会研究会

2020年度会計報告書

研究会名称 日本心理学会メディア心理学研究会

研究会番号 「22023」

助成金額 3万円

年月日	項目	金額
2023年3月9日	第3回研究集会アルバイト人件費 5000×2	¥10,000
2023年1月28日	資料製作費	¥3,600
2023年2月4日	資料製作費	¥2,000
2023年2月17日	資料製作費	¥5,552
2023年3月4日	資料製作費	¥1,980
2023年3月21日	資料製作費	¥2,090
2023年3月13日	印刷費	¥5,000
	支出合計	¥30,222